

キキヨウ

Platycodon grandiflorum
(Jacq.) A. DC.

キキヨウ科
Campanulaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由 県内での生育地は各地に散在しているが、個体数は僅少。植林や野焼きの停止などで生育環境が変わり、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地、中津・宇佐低地、日田低地・丘陵地、玖珠丘陵地・山地、由布・鶴見火山群、別府湾沿岸域、豊後水道域、豊後水道後背地域

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国(北部・東北部) ウスリー アムール ダフリア

生育環境 丘陵地や低山地の草原。

現 状 植生遷移の影響により生育状態が悪化したり、土地改変のため消滅した生育地がある。人によりしばしば採取される。

備 考 国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海、耶馬日田英彦山、日豊海岸]

アソノコギリソウ

Achillea sibirica Ledeb.
subsp. *subcartilaginea* Heimerl

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 火山性高原の草原に生育し、生育地、個体数はかなり多い。野焼きの停止による植生遷移の進行や人工牧野への改変などで、減少の傾向にある。また、人による採取も懸念される。

県内分布 耶馬溪地区、英彦山・犬ヶ岳山地、日田低地・丘陵地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、別府湾沿岸域、大分川・大野川丘陵地、大野川上流域、祖母・傾山地

分布域 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)

生育環境 丘陵地や低山地の日当たりのよい草原。

現 状 「九重火山群」の牧野改変で生育地が消滅したり、登山道の近くでは人の採取によって個体数の減少がみられる。

備 考 九州の特産種。

カワラハハコ

Anaphalis margaritacea (L.) Benth. et Hook. fil.
subsp. *yedoensis* (Franch. et Savat.) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (中津・宇佐低地)

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)

生育環境

現 状 「中津・宇佐低地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。